

広報ほんべつ

本別

いいひと いいまち いきいきほんべつ

HONBETSU

2015

September
No.1043

9月

表紙 第37回子ども七夕まつり
「中央保育所の子供たち」



第19回

ほんべつきらめきタウンフェスティバル2015

第19回

ほんべつきらめき タウンフェスティバル2015

9月5日(土)
▼
6日(日)
利別川河川敷地特設会場

手裏剣戦隊ニンニンジャーショー

9月6日(日)
1回目 午前11時～
2回目 午後2時～

※ショー終了後、
撮影会・サイン
会有り(有料)

©2015 テレビ朝日・東映AG・東映

**STVラジオ公開録音
歌謡ショー**

9月6日(日)
午後6時～

成底ゆづ子
水森かおり
ばやぶさ

東十勝花火大会

9月5日(土)
午後7時30分～

主催/本別きらめきタウンフェスティバル実行委員会
共催/本別町・本別町農業協同組合・本別町商工会・本別町観光協会
本別建設業協会・本別町馬事振興会・本別町自治会連合会
北海道新聞社帯広支社・十勝毎日新聞社
十勝ふるさと市町村圏東北ブロック実行委員会
後援/帯広開発建設部・十勝観光連盟・株式会社明治本別工場
北海道糖業株式会社本別製糖所
北海道土地改良事業団体連合会十勝支部
支援/陸上自衛隊第5旅団・本別建設業二世会

プログラム

こみのお持ち
帰りにご協力
ください

9/5(土)

午前11時00分- うまいもの市・売店コーナー
友好都市小松島市物産市
白糠町物産販売
馬とのふれあい広場(ホト馬車乗車)
災害対策用機械展示
午後1時00分- 浅草「仲見世」の美演手焼き
せんべい限定無料配布
ふわふわランド
ゆるキャラグリーディング
午後2時30分- Mirror Mate ダンスステージ
午後3時00分- 陸上自衛隊第5音楽隊演奏
午後4時00分- ゆるキャライベント
午後5時00分- 道新プレゼンツ じゃんけん大会
午後5時30分- 道新プレゼンツ
「FMウイング×平原ジャム
スペシャルコラボステージ」
・groovabout
・いこたい

東十勝花火大会

4500発の花火が本別の夜空を彩ります
花火終了後- お楽しみ抽選会
午後9時00分- 閉会

お問い合わせ=役場企画振興課商工観光・元気まち担当 ☎22-2141

9/6(日)

午前10時00分- うまいもの市・売店コーナー
友好都市小松島市物産市
白糠町物産販売
ばんばリース
災害対策用機械展示
ふわふわランド
午後11時00分- 熱気球体験試乗
・小学生以上 1回 5000円
・高校生以上 1回 10000円
馬とのふれあい広場(ホト馬車乗車)
キャラクターショー1回目
手裏剣戦隊ニンニンジャーショー
午前11時30分- 十勝KIDS-TOKER撮影会
(午後2時まで)
午後0時00分- 郷土芸能(義経太鼓・駒踊り・本別小唄)
午後1時00分- 地元キッズHIPHOPダンス
午後2時00分- キャラクターショー2回目
手裏剣戦隊ニンニンジャーショー
午後3時00分- FM JAGASステージショー
・カレコンテスト
・なだぎ武お笑いライブステージ
・ビンゴゲーム
午後6時00分- STVラジオ公開録音
歌謡ショー
出演者: 水森かおり、成底ゆづ子、はやぶさ
歌謡ショー終了後- お楽しみ抽選会
午後8時30分- 閉会

歌謡ショー



なだぎ武

国民年金

その161

国民年金の
納め忘れがある人へ
後納制度が
9月末で終了します

年金制度の改正により、平成24年10月からの3年間に限り、納め忘れが過去10年間の国民年金保険料を納めることのできる「後納制度」が9月末で終了します。過去10年間に納め忘れがあり、本制度の利用を検討されている人は、お早めにご手続きをお願いします。

★後納制度で保険料を納付するメリット

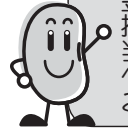
- ① 年金受給資格を得られる可能性があります
- ② 将来受け取る年金額が増加します
1か月分の保険料を納めることにより、受け取れる年金額が年額1625円(平成27年度の年金額で算定)増加します。

★後納制度を利用できる人

- ① 20歳以上60歳未満で、過去10年以内に年金保険料の納め忘れのある人
- ② 60歳以上65歳未満で、①の期間の他、任意加入中の年金保険料の納め忘れのある人
- ③ 65歳以上で、年金受給資格がなく任意加入中の入
※60歳以上で、老齢基礎年金を受け取っている人は申し込みできません

後納制度を利用できる人には、制度開始時(平成24年度)に日本年金機構から通知文が送付されていますが、ご自身の年金保険料の納付履歴が分からない場合は、インターネットの「ねんきんネット」を利用して年金記録を確認できます。

「ねんきんネット」の利用は役場の窓口でも可能ですので、ご利用を希望される人は、住民課戸籍年金担当へご連絡ください。



詳しくは
住民課戸籍年金担当へ
☎22-8128

本別・南三陸ふるさと交流研修会

2015年7月27日から8月1日

7月27日から8月1日の6日間の日程で本別・南三陸町ふるさと交流研修会が、震災から4年が経過した宮城県南三陸町で行われました。昭和60年から始まったこのジュニアリーダー交流研修会は、先輩たちから友情の灯火を引き継いで今年で31回目となりました。本別町から参加した12人の皆さんは、宮城県教育委員会よりジュニアリーダー（初級資格）の認定を受けました。



※ジュニアリーダー（JL）とはボランティア等の活動を行う中・高校生のことです。南三陸町では「南三陸ボランティアサークル（MVC）ぶらんこ」というJL組織があり、この研修会の中心を担っています

東日本大震災から4年

更地のままの土地、山肌がむき出しの山々、塩害で変色した杉林。復興の歩みを続けるものの、南三陸町では震災の爪痕が色濃く残っています。震災以降、保存に関する意義を問う議論がなされてきた防災対策庁舎は2031年までの保存が決まりましたが、避難者の皆さんの住宅問題をはじめ、まだまだたくさん課題を残しています。悲痛と喪失感と絶望の中にあっても、ここに住む人々は明日への希望を、豊かな暮らしを、そして新たな未来を創造しなければならぬとの重責を背負い、亡くなった人たちの分までも必死で生きています。本町から参加した皆さんは、被災地の現場を目の前で感じ取ったと思います。



サブリーダー
中村亜依さん
本別高校1年



「一人じゃない。仲間がいる」ということをあらためて実感しました。

サブリーダー
山下莉奈さん
本別高校2年



初級生やMVCぶらんこのみんなとたくさん学び、交流ができてよかったです。



塚林 遼さん
本別中学校1年

交流で南三陸のみんなと仲良くなれたけど、別れるのがつらかったです。



佐藤 碧惟さん
本別中学校1年

南三陸町はすごく楽しいところです。特にバナナポートが楽しかったです。



内田 里穂さん
本別中学校1年

南三陸町の人たちはとても優しく明るくて素晴らしい人たちでした。



荒井 若菜さん
本別中学校1年

初級研修をしてみんなに頼られる立派なJLになりたいです。



前田 未郁さん
本別中学校2年

MVCぶらんこのみんなのようなカッコよいJLになりたいです。



倉川 萌英さん
本別中学校2年

自分は少しですが、今回の研修で成長できたと思いました。



久常 遥さん
勇足中学校1年

最初は不安だったけど、友達ができ、楽しく活動ができてよかったです。



山下 莉奈さん
勇足中学校1年

研修1日目のバナナポートでの肩で風を切る感覚は忘れられません。



吉川 開さん
本別中学校2年

今回の体験で学んだことはJLとは何かです。自分も立派なJLになりたいです。



佐藤 朱理さん
本別中学校2年

最初はとても不安でついていけるか心配だったけど楽しかったです。

「小さな先生たち」へ

社会教育事業では、学校教育とは学び方が異なり、このようなリーダー研修には先生がいません。参加者全員が先生となるからです。小さな先生たちは、プログラムの立案や打ち合わせ、準備で大忙し。音楽の編集やパソコン操作、音響装置の操作なども身につけなければなりません。お互いの意見がぶつかり、険悪なムードになってしまうこともあります。参加者自身がお互いを認め合い、助け合いながら大きな壁を乗り越えたときに、研修の意義を感じることができます。こういった経験が、上級生になった時や社会に出た時の大きな自信につながってほしいと思います。 (社会教育担当)

問い合わせ
教育委員会 社会教育担当
☎ 22-5111

<p>7月29日(水) JL初級研修会 (1日目)</p> <p>主にいかだレースやバナナポートを体験</p>	<p>7月30日(木) JL初級研修会 (2日目)</p> <p>主にカッター漕艇訓練やキヤンポルセレモニーを体験</p>	<p>7月31日(金) JL初級研修会 (3日目)</p> <p>志津川自然の家出発 午前11時 松島町内見学 午後1時 仙台つみの杜水族館見学 午後3時 仙台港発(太平洋フェリー) 午後7時40分</p>
<p>8月1日(土)</p> <p>苦小牧港着 午前11時 中央公民館到着 午後5時</p> <p>再会を誓ってお別れ</p>		

<p>7月27日(月)</p> <p>中央公民館出発 午後0時30分 苦小牧港発(太平洋フェリー) 午後7時</p> <p>南三陸町役場訪問</p>	<p>7月28日(火)</p> <p>仙台港着 午前10時 南三陸町役場着 午前11時50分 町内視察研修 午後1時30分 民宿着 午後5時</p> <p>防災対策庁舎や津波被害により閉校した戸倉中学校を見学</p>
--	--





本別高校での具体的な取り組み

本別高校では、基礎から難関突破までの学習指導を徹底し、「生徒一人ひとり」の学力アップを図っています。1年生では、国語・数学・英語・理科の授業数を多く設定し、基礎学力を確実に身に付けられるよう指導。2・3年生では、関心や進路に合わせてより専門的に選択することができる「単位制」と、進路希望に応じてクラス編成を行う「コース制」の長所を合わせ持つカリキュラムを編成し、個々に合わせた多様な指導を行っています。



3年生になると、全教員が分担して生徒一人ひとりの進路指導を担当、昼休みや放課後、総合学習の時間などを利用して指導を行っています。

スタディーサポートとして、国語、数学、英語の基礎問題のテストを春と秋に実施し、自分の学力状況を把握する中で、個々に応じた学習の仕方アドバイスを受たり、入試対策だけでなく、卒業後も活用できる英語力をつける教材を1～3年生全員が活用したりして学んでいます。

その他、センター試験模試や学力テスト、看護・公務員模試、英語・漢字・数学・硬筆書写の各種検定や危険物取扱、情報処理資格などを学校全体で取り組んでいます。

進路先が決まるまでさらに手厚くサポート

多様な目標に対応する進路指導として、長期休業中などをはじめ、年間を通じて進路講習を開催（本年度は9回）するとともに、受験する大学や企業の試験科目に合わせて、小論文や個人・グループ面接などの対策を、進路先が決定するまで個別指導を実施しています。

このように、本別高校は複合的な学習・進路指導を行うことにより着実に成果を上げてきています。



夏期講習（英語）の様子



就職希望者対象の事前指導

現在の本別高校在校生の出身中学別生徒数は表の通りとなっており、少子化による中学卒業者の減少に伴い、1学年2学級を確保することが大変厳しい状況にあります。

本別高校の教育を考える会では、学校との連携により今後もさまざまな取り組みを実施し、生徒と地域に必要なとされる学校作りを推進していきますので、ご支援をお願いします。

本別高校の教育を考える会
会長 我妻 勇次

本別中	勇足中	仙美里中	足寄中	陸別中	上浦幌中	浦幌中	合計
75人 (52%)	8人 (5%)	9人 (6%)	9人 (6%)	10人 (7%)	4人 (3%)	30人 (21%)	145人

問い合わせ 本別高校の教育を考える会事務局（本別町教育委員会内） ☎22-2331

本別高校で夢! 実現



本別高校では、「創意実践」の校訓のもと、生徒の個性を大切にし、基礎から難関突破（夢の実現）までの学習指導を徹底し、一人ひとりの学力アップや文武両道の精神で、さまざまな生徒会活動を実践しています。本号では、生徒一人ひとりの夢実現のため、本別高校が行う学習面での取り組みの様子について紹介します。

伝統を受け継ぐ 本別高校

本別高校は、昭和17年に本別町立本別中学校として開校し、昭和21年に北海道庁立本別中学校と改称、その後、定時制普通科を併置するとともに農業科を設置、昭和25年に現在の名称「北海道本別高等学校」となりました。
今年度で73年目を迎え、十勝の中で2番目に古い伝統があり、現在は、1年生2学級47人、2年生2学級62人、3年生1学級36人の計145人が学んでいます。
部活動では、運動部が9部、文化部が5部、外局が3局に延べ人数で156人の生徒が加入し、十勝はもとより全道大会において優秀な成績を残すなど、文武両道の精神で日々から活発な生徒会活動に励んでいます。



地域の拠点校としての活動

十勝における郡部の拠点校として、平成15年に文部科学省の「学力向上フロンティアハイスクール事業」研究指定を受け、以後もさまざまな学力向上のための指定事業を受諾し実施してきました。現在は、北海道高等学校学力向上推進事業（モデル別学向上プロジェクト）推進校のほか、就職指導の改善に関する研究指定校、高等学校における個々の能力・才能を伸ばす特別支援教育研究指定校として、学力向上・進路指導等、積極的に取り組んでいます。
その結果、平成26年度の卒業生70人中、国立大学に5人、私立大学に8人、私立短期大学に3人、高等看護学校に2人、専修・各種学校に27人の進学や、公務員に6人をはじめとする25人が就職するなど全員の進路が決定しています。



第30回 チャリティー

樽生ビアー彩



ビール片手に盛り上がる来場者



本別ジュニアプラスアンサンプルの演奏



何枚はけるか「パンツ早ばき選手権」

第30回チャリティー樽生ビアー彩（本別町商工会青年部主催＝砂原剛部長）が7月25日、役場前駐車場で開催されました。

ビールやたくさんのイベントを満喫

この日は、開場の花火と同時に一時的に雨がぱらつきましたが、天候が回復し多くの家族連れや友人同士が詰めかけ、午後7時ごろには用意された約1200の席を埋め尽くしました。会場では、ビールやチューハイなどの飲み物はもちろん、焼き鳥やから揚げ、黒豆コロッケやクレープなどを提供するたくさんの屋台が並んだ他、今年で30回目を記念し、主催者からまぐろの頭焼きが無料で提供されました。

ステージ上では、本別ジュニアプラスアンサンプルの演奏やヒップホップダンス、今年初開催の第1回全十勝パンツ早ばき選手権や恒例の豪華景品の当たる前売り抽選会などが行われ、会場を訪れた人たちは、ビールを飲みながらたくさんのイベントを楽しみました。



会場全員でカンパイ!!

平成27年国勢調査が 全国一斉に行われます

国勢調査
2015



国勢調査は、日本国内に住んでいる全ての人・世帯を対象に行われる統計調査です。国内の人口や世帯の実態を明らかにし、国や地方公共団体が行う福祉施策や生活環境整備、災害対策などを進める上での参考とするため、5年に1回行われる重要な調査となります。国勢調査員が9月上旬から皆さんのお宅に伺いますので、ご協力をお願いします。

今回からインターネットでの回答ができます

今回の国勢調査からパソコンやスマートフォンなどを利用したインターネット回答が可能となりました。国勢調査員が皆さんのお宅を訪問し、インターネットの利用者情報（接続ID、パスワード等）が書かれた「インターネット回答の利用案内」を配付します。9月20日までの期間は、いつでもお好きな時間に回答できますので、ぜひご利用ください。



インターネットで未回答の人は調査票を配付

先にインターネットの回答を受け付け、インターネットで回答されなかった人には、後日調査員が皆さんのお宅を訪問し、調査票を配付して調査を行いますので、10月7日まで郵送または直接調査員に提出し、回答にご協力をお願いします。

パソコン・スマートフォンから

インターネット回答は

9月10日～20日まで

調査票での回答は

10月1日～7日まで

問い合わせ 企画振興課広報電算担当 ☎22-8121

第37回

子ども七五三



①射的に挑戦…当たれ!
②義経太鼓保存会牛若組

元気いっぱい 「どっこいしょ!」

第37回子ども七夕まつり（子ども七夕まつり実行委員会主催＝久能利幸実行委員長）が8月2日、役場前駐車場で開かれました。会場内の柳の木には、子供たちの願い事が書かれた短冊が多数飾られ、遊びと食のコーナーでは、子供たちが射的やヨーヨーすくいなどのゲームを楽しんだり、やきそばや綿あめなどの食べ物を満喫しました。

盆踊りでは、町内の幼児や小学生などがやぐらを囲んで大きな輪を作り、曲に合わせて「どっこいしょ!どっこいしょ!」と声を出しながら、かわいらしい踊りを元気いっぱいに披露。引き続き、義経太鼓保存会牛若組による太鼓演奏や花火大会なども行われ、多くの家族連れが夏の思い出に残る楽しいひとときを過ごしました。

スターフェスティバル

2015



ビール片手に 「かんぱい!」

スターフェスティバル2015（実行委員会主催＝西村章実行委員長）が8月1日、銀河通り歩行者天国で開かれました。会場には、今年もやきそばやから揚げ、フライドポテトなど食べ物の出店が並び、ビール、チューハイで喉を潤す来場者のお腹を満たした他、ゲームコーナーでは子供たちが型抜きやスーパースクイに夢中になっていました。ステージでは、ヒップホップDANCING☆STARの10人によるダンスの披露や、蘭まちこさん、春日ゆうじさんを招いた歌謡ショー、ビンゴゲーム大会も行われ、ビンゴでは特賞の「沖縄ペアご招待」を緑町の佐藤一枝さんが獲得。自転車やゲーム機、お米などの豪華景品の当選が出るたびに、会場は大きな盛り上がりを見せました。



①会場いっぱいの来場者
②ヒップホップダンスを披露
③歌謡ショーの(左)春日ゆうじさん、(右)蘭まちこさん

防犯ポスター表彰式

平成27年度の防犯ポスター表彰式が8月2日、子ども七夕まつりの開会式で行われました。受賞者は次の通り。

- 最優秀賞＝久常優花さん（勇足中3年）
- 優秀賞 本別町長賞＝谷川雅知さん（本別中3年）
- 本別警察署長賞＝福良 涼さん（勇足小5年）
- 本別町生活安全推進協議会長賞＝久常かなめさん（勇足小5年）



ほんべつ夏まつり事業

盆踊り



仮装姿で踊る参加者



かわいい踊りを披露する子供たち



祭りの最後を締めくくる恒例の餅まき

ほんべつ夏まつり事業実行委員会（岡崎勉実行委員長）主催によるほんべつ夏まつり事業・盆踊りが8月14日、役場前駐車場で開催されました。

夏のひとときを 楽しむ

当日は曇り空で雨も心配されましたが過ごしやすい気候に恵まれ、午後5時の花火の音とともに子ども盆踊りで開幕。幼児から小学生の約60人が浴衣や甚平姿でかわいい踊りを披露しました。続いて一般の盆踊りが行われ、個人や団体で参加した約140人が、浴衣や趣向を凝らした仮装姿でやぐらの周りを輪になって踊り、会場を盛り上げました。会場内では、焼き鳥や生ビール、かき氷を提供する屋台が並んだ他、歌謡ショーや盆踊りを踊った人に特賞3万円分の商品券が当たる抽選会、恒例の餅まきなどが行われ、訪れた多くの来場者たちは、短い夏のひとときを楽しみました。

第10回 本別

ひまわり三千坪迷路



約1・5haのひまわり畑の中に作られた迷路の総延長は2・5km。約2mまで成長したひまわり迷路の中では、徒歩でゴールを目指す人や、トラクターの幌馬車でのんびりと迷路内を1周し、黄色のじゅうたんのように咲いた花を觀賞するなど、思い思いに楽しみました。9日に行われた開会式で背戸田代表が、「仲間に支えられ10回目を迎えることができました。今年は3万人の来場者を目指します」とあいさつした後、義経太鼓保存会による太鼓演奏で開会を盛り上げました。会場内では、ゆでトウモロコシや焼き鳥、そはやカレーライスなどを提供する屋台が並び、来場者のお腹を満たした他、ポニー乗馬体験やビンゴゲーム、熱気球搭乗体験、子ども縁日など多彩な催しでにぎわいを見せました。期間中は天候にも恵まれ、帰省や旅行で道内外から訪れた家族連れなど過去最高の延べ3万4000人が来場し、本別の夏を満喫しました。



総延長2.5kmの迷路に挑戦！



ポニー乗馬を楽しむ子ども

本別の夏を飾る第10回本別ひまわり三千坪迷路（本別ひまわり愛好会・背戸田利光代表）が8月9日から16日の8日間、美里別東中のひまわり牧場で開催され、5月に種を植えたひまわりが、太陽の光をいっぱい浴びて大輪の花を咲かせ来場者を出迎えました。

過去最高の3万4000人が ひまわり迷路を満喫

ひまわり迷路を満喫

各学校の手作りページ

HELLO 本別中学校

教育目標

力行 力いっぱい学ぶ生徒
 方正 真面目に考え行動する生徒
 錬磨 身も心も鍛える生徒

「ほんべつ学びの日」～4つの風の中で～
学校づくり

49人の新入生を迎えた入学式（4月8日）



昨年卒業1万号を迎え、新たな時代へ踏み出した本別中学校。生徒はいつも全力で明るく、自らの課題と向き合う毎日です。自分の中の十勝一と思いやりの心が今年のテーマです。



体育祭は大熱戦の連続！（5月30日）



全道中体連ベスト8、全道選抜3位の本別・勇足バレー部
応援ありがとうございました



授業はもちろん真剣です（3B道徳）



2年宿泊学習（更別）



1年野外体験学習（足寄）

夏を乗り越え実りの秋！本別中学校では、今後も生徒の頑張りを皆さんに発信して参ります！

- 9月4日（金）…… 地域参観日・校内意見発表大会
- 9月27日（日）…… 本中文化祭 合唱の公開、ステージ・作品発表やバザーもあります
- 10月2日（金）…… 本中強歩 午前10時スタート 足寄から～本中まで（予定）
- 10月25日（日）…… 吹奏楽定期演奏会 本別中体育館 午後3時30分開場、午後4時開演（予定）

町民の皆様、ぜひご来校いただき、生徒の躍動と集中した取り組みをご覧ください！

Information

ラリィ北海道

FIAアジアパシフィックラリー選手権 第5戦
 JAF全日本ラリー選手権 第7戦

十勝の5町村で国際ラリー大会「ラリー北海道」が開催されます。今年を上押帯から美蘭別、活込までの町道と林道が複合する延長13.79kmのスペシャル・ステージ（SS）「本別林道コース」が設定され、最大800人収容の観戦ステージ（美蘭別）も用意されます。ト迫力のラリー走行を間近でご覧ください。

本別林道コース大会日程

9月20日（日）

開始予定時間

1回目（SS14）

午前7時37分

2回目（SS18）

午後1時53分

前売り観戦チケット販売中！！

前売り観戦チケットを、町民向けに販売します。価格は通常2000円のところ1200円になっています。
 ※中学生以下は無料（保護者同伴が必要）
 ※帯広、音更、足寄、陸別コースのチケットも取り扱っています
 ▼チケット販売所および問い合わせ
 町観光協会事務局（本別町役場企画振興課内） ☎2218121



白糠町からのお知らせ

遊びにおいでよ…ストリート！

第23回 カミングパラダイス

白糠夏のビッグイベント・カミングパラダイスが今年も開催されます。

多数の露店が立ち並び、白糠の特産品（海のもの、山のもの）販売やフリーマーケット、子ども縁日、郷土芸能、ピンゴ大会や抽選会などおなじみの楽しいイベントが盛りだくさんです。皆さんのご来場をお待ちしております。



とき 9月12日（土）・13日（日）

ところ ハミングロード（白糠南通り商店街）※白糠駅前通り

問い合わせ 白糠ふるさと振興協会・カミングパラダイス実行委員会（白糠町商工会内）
 ☎01547-2-2345

主なイベント	9/12 午後3時～午後9時	9/13 午前10時～午後3時
	＊フードコーナー、フリーマーケット、子ども縁日、本別町物産販売コーナーなど（終日） ＊新ご当地グルメ「白糠タコつぶステーキ丼」200食限定無料配布（午後4時） ＊大道芸（午後7時） ＊大ピンゴ大会（午後8時）	＊フードコーナー、フリーマーケット、子ども縁日、本別町物産販売コーナーなど（終日） ＊サイコロDEスタンプ、郷土芸能白糠駒踊り（午前10時） ＊ラムネートル競走（午前10時45分） ＊ラーメンすくい（午後1時） ＊チケット抽選会（午後2時）

委員全員で居住支援協議会の設立を確認 **7 27**

第2回高齢者等住まい・生活支援検討委員会が7月27日、町関係職員や委員17人が出席し総合ケアセンターで開かれました。会議では、町担当者から第1回以降の各部会の活動報告や空き家等実態調査の状況などが説明された後、出席者全員で、高齢者のみならず障がい者など、幅広い町民を対象に民間賃貸住宅への円滑な入居を目的とした「居住支援協議会」の準備会を設置し、12月に設立を目指すことを確認しました。その他、同席した国土交通省住宅局安心居住推進課田中裕人課長や北海道建設部住宅局建築指導課椿谷敏雄課長などから国や道での取り組みについて説明が行われました。



熱戦を繰り広げる **7 29**

第56回本別町少年少女体育大会（町教育委員会主催）が7月29日、町体育館で開催されました。種目はドッチボールで、町内の小学校から7チーム67人が出場。ゲームは2ブロックに分かれ予選リーグ戦を行った後、上位5チームで決勝トーナメント戦で優勝を争いました。子供たちは、チームメイトや応援に駆けつけた父母らの声援のもと熱戦を繰り広げ、爽やかな汗を流しました。成績は次の通り。

- 優勝＝仙美里グレートフレンズ
- 準優勝＝チーム桜（中央小）
- 3位＝正義のバスターズ（勇足小）



奉仕活動に汗 **7 25**

本別建設業協会二世会（三村智勝会長）が7月25日、愛のかけ橋で歩道の草刈り作業を実施しました。これは、地域貢献活動の一環として取り組まれたもので、参加した会員13人は、歩道の縁石付近に生えた雑草をスコップなどで丁寧に除去し、奉仕活動に汗を流しました。



本別高校テニス部員が塗装ボランティアを実施 **7 27**

本別高等学校テニス部（男子＝藤原颯部長、女子田中瑚子部長）の部員15人が7月27日、静山テニスコートの塗装ボランティアに汗を流しました。これは、町教育委員会が今年、同テニスコートのクラック（ひび割れ）改修工事を実施したのに伴い、日頃から練習でお世話になっている施設を自分たち手で整備しようと取り組まれたもの。部員たちは、改修箇所を刷毛で丁寧に色を塗った後、きれいになったコートで早速練習を開始していました。



全国大会目指して頑張ります **7 22**

十勝の予選を勝ち抜き北海道中学校体育大会の陸上、バレーボール、水泳、柔道に出場する本別中学校（池浦暢校長）の生徒14人と勇足中学校（上田禎子校長）の生徒2人が7月22日、教育委員会を訪れ、中野博文教育長に全道大会出場を報告しました。生徒たちは、「ベストタイムを出したい」「優勝して全国大会に出場したい」などと抱負を語り、中野教育長は、「体調管理をしっかり行い、全国大会出場を目指して頑張ってください」と激励しました。



※全道大会の結果
 水泳 400mメドレーリレー 5位
 他の競技についても、各選手ベストを尽くしました。

料理・スポーツ・花火で交流 **7 24・25**

3館合同児童館キャンプが7月24日～25日、美里別地区公民館で行われました。参加した町内の小学1年生から5年生45人は、カレー作りや、町スポーツ推進委員と町教育委員会職員の3人の指導のもと、5チームに分かれてディスコンなどの軽スポーツにも挑戦。心地よい汗を流した後は、おいしいカレーライスをいただき、夜には花火やナイトウオーキングを楽しむなど、夏休みの思い出に残るひとときを過ごしました。



戦時中の自叙伝を講談 **7 16**

成人・高齢者学級「義経教室」の一般公開講座「義経合同教室」が7月16日、中央公民館で開かれました。今回の講座では、資料館特別展の「平和のつどい」で本町を訪れた講師真打ち神田甲陽氏による「むすんでひらいて八十年」と題した講談が行われました。講談では、軍国少年として育った当時14歳だった神田氏本人が、空襲や疎開、終戦の混乱の中で思想の転換を余儀なくされた少年の心の内を語りました。参加した約80人は、時代の背景を思い浮かべながら、明瞭な語り口で語られる講談に耳を傾けていました。



仙美里で議会の出前委員会を開催 **7 21**

本別町議会総務常任委員会（高橋利勝委員長）による出前委員会（所管事務調査）が7月21日、仙美里地区公民館で開かれました。これは、町民の皆さんの身近な場所で会議を開催し、多くの人に議会に関心を持ってもらうと取り組まれたもの。会議では「仙美里中学校跡地の利活用について」を議題に、町および教育委員会職員がこれまで検討を進めてきている特別支援学校誘致活動の経過や今後の方向性について説明し、議員からは「今後も地域と密に打ち合わせをしながら利活用方策の検討を進めてください」などと意見が出され、15人の傍聴者が会議に耳を傾けました。



使用料等審議会 8 19

本別町使用料等審議会（高木幸夫会長）が8月19日、役場で開かれました。会議には、7人の委員が出席し町からの諮問事項であるマイナンバー法施行に伴う通知カードや住民基本台帳カードの再発行手数料について協議。諮問の通りとする意見がまとめられ、最後に高木会長から高橋正夫町長へ答申書が手渡されました。



家族とともに 夏祭りを楽しむ 8 9

アメニティ本別（長谷川賢理事長）主催の夏祭りが8月9日、同施設で開かれました。これは、施設利用者とその家族、地域の人との触れ合いを目的として例年行われているもの。会場では、焼き鳥や焼きそばなどの屋台が並んだ他、今年も施設スタッフによる趣向を凝らした余興や義経太鼓保存会による迫力ある演奏が披露され、参加した約170人は、夏の楽しいひとときを過ごしました。



ボランティア活動に汗 8 8

シンレキ（高荷三千雄社長）が地域貢献活動の一環として8月8日、健康管理センターの駐車場において駐車柵ライン引きを実施しました。作業を行った従業員3人は、機械を使い白線を丁寧に引き、ボランティア活動に汗を流しました。



戦争もない核もない 世界を願う 8 3

反戦・反核の願いを込めながら、広島の平和記念公園から引き継がれた「平和の火」を走りつなぐ、第28回反核平和の火リレーが8月3日、町内で開催されました。参加した約30人のランナーは、平和の火を灯したトーチを掲げ、役場前広場から勇足元町までの国道を「戦争も核もない平和な社会の実現」をアピールしながら、走りつなぎました。



地域での役割などに 理解を深める 8 21

ほんべつ学～夏のまなび～「大人の社会科見学バスツアー」が8月21日、町内で行われました。大人を対象とした今回のほんべつ学では、町内にある施設を回り、目で見て学んでもらおうと企画されたもの。参加した17人は、北海道糖業本別製糖所や明治本別工場、双日北海道与志本別工場などを訪れ、各施設の担当者から工場の概要や事業内容の説明、案内を受けながら工場内を見学し、地域での役割などに理解を深めました。



手のぬくもりでにっこり 8 10

家庭教育支援事業「なかよし」によるベビーマッサージ&ママのためのオイルマッサージ講習会が8月10日、アロマセラピスト内田ちさとさんを講師に健康管理センターで開かれました。講習会には、9組18人の親子が参加し、ママたちはグレープシードオイルなど100%天然の植物油を使い、赤ちゃんのおなかや腕、足をゆっくりとマッサージ。赤ちゃんはママのやさしい手のぬくもりで安心し、かわいらしい笑顔を見せていました。この他、ママが自分のできるハンドマッサージの方法についての講習も行われ、会場は終始なごやかな雰囲気になりました。



豪快な歌声と演奏に 温かい拍手 8 9

第39回民謡三味線発表会（町文化協会・中央公民館主催）が8月9日、中央公民館で開催されました。発表会では、出演者全員による本別小唄やソーラン節の合奏で開幕し、文化協会に加盟する5団体の会員29人が、日頃の練習の成果を18演目で披露。豪快な歌や演奏、華やかな踊りなど趣向を凝らした演出に、詰め掛けた約100人の観客から温かい拍手が送られていました。



楽しい楽しい バス遠足！ 8 4

児童館3館合同バス遠足が8月4日、音更町内で行われました。参加した町内の小学生30人は、バスに乗って町体育館前を出発し、初めによつ葉おいしさまっすぐ館で牛乳やチーズの製造工程などを見学。引き続き、むつみアメニティパークに移動し、水遊びを満喫したり、お弁当、おやつを食べるなど、楽しい1日を過ごしました。



みんなの健康

373

健康はお金で買えない非売品



特定健診は、メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予防を目的とした健診です。メタボリックシンドローム（以下メタボ）とは、内臓脂肪型肥満に加え、高血糖・高血圧・脂質異常のうちいずれか2つ以上を合わせもつた状態を言います。メタボになると、血管の老化である動脈硬化が急速に進み、血管は全身に酸素や栄養を運ぶライフラインですので、これが詰まったり破れたりすると、心臓病や脳卒中など命に関わる重大な病気に繋がるのです。平成26年度に本別町国民健康保険の加入者中、特定健診を受診された人の結果では、男性の33・8%、女性の7・3%がメタボに該当していました。高血糖・高血圧・脂質異常症などの生活習慣病は、心臓病などの重い病気を発症するまで自覚症状がありません。しかし、生活習慣病を早期に発見し、生活改善や治療などの適切な対処をすれば重症化を防ぐことができ、そのために、健診を受けることが大切なのです。

平成26年度の本別町国民健康保険特定健診の受診率は29・1%で、平成25年度に比べ受診者は増えました。約3人に1人しかこの健診を受けていないこととなります。未受診者の中には、「定期的な病院に通院し、血液検査もしているから健診は受けなくて大丈夫！」という声もよくお聞きしますが、検査結果を見せていた、たくと、通院中の病気にかかわる項目のみの検査で、全身の健康状態を調べていない場合も多いように感じます。検査結果の見方がわからない場合は、お気軽に健康管理センターへご相談ください。

年に1度は健診を受け、結果から自分の体の状態を知り、生活改善などにかしましょう。

健康管理センター
保健師 大津 香織

未来に輝く子どもたち

本別町の未来を担うかわいい星たちです。
お父さん、お母さんのたくまの愛に包まれてすくすく元気に育つてね！



北6丁目
一森 隆生くん
(里奈ママ)



南2丁目
杉本 柊羽くん
(沙知子ママ)



高等学校
中島 遥ちゃん
(朋美ママ)

※写真は本人に了解を得た上で掲載しています

インタビュー

本別に集い意見交流

第62回十勝管内複式校母の集い本別大会（十勝管内複式教育振興連絡協議会主催）が8月22日、中央公民館で開催されました。大会では、北海道教育大学釧路校准教授二宮信一氏を講師に「複式校の子どもたちの状況から学ぶ家庭・地域・学校の役割」と題した講演が行われました。二宮氏は「子どもは、一人ひとり特性が違い、個々に合った指導が必要で、へき地小規模校では、子どもに応じ、家庭や地域、学校が一丸となって学習活動が行える強みを持っている」と話しました。午後からは、懇話会なども行われ、参加した母親ら約170人は意見交換をするなど、交流を深めました。



8 22

情報を広報電算担当へお寄せください ☎22-8121

ご寄付ありがとうございます

平成27年7月16日から8月15日

- 次の通りご寄付をいただきました。紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)
- ★本別町中央・南保育所指定
ニンジン 100kg …… チェイトイ1 長谷川寛三
 - ★本別町指定
災害備蓄用飲料水576ℓ (1.5ℓ×384本)
… 帯広トヨペット株式会社本別店 代表取締役社長 若林 剛
 - ★老人ホーム指定
スイカ6玉 …… 本別中央自治会連合会 会長 三枝 金作

個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付

金 50,000円	千葉県	葛西 達夫
金 10,000円	札幌市	佐藤 寿一
金 10,000円	愛知県	葩島 秀行
金 10,000円	愛知県	松林 幸夫
金 10,000円	愛知県	板垣 克宏
金 10,000円	福岡県	衛藤 通則
金 10,000円	東京都	多田 愛子
金 10,000円	埼玉県	畠中 光行
計 金 190,000円		匿名 19人

銀河ホップアラビアンズ

足寄町

2015オンネット物語

神秘の湖オンネットーで、初秋のひとときを過ごしませんか。

□とき 9月27日(日)
午前9時30分 - 午後2時

- 内容
- ☆自然ふれあい教室
オンネットーの散策路で森に親しむ教室です。(当日も参加申し込みが可能です)
 - ①オンネットー湖岸遊歩道コース
 - ②湯の滝遊歩道コース
 - ☆あしよる観光協会出店コーナー
 - ☆農産物の無料試食コーナー
 - ☆フォトコンテスト作品展示および受賞者表彰式
 - ☆オンネットーコンサート

陸別町

フリー北海道「陸別ステージ」開催

今年もフリーの国際格式レース「フリー北海道」が十勝を舞台に9月18日から開催されます。陸別ステージは次の日程で行われますのでぜひ、ご観戦ください。

□とき 9月19日(土)
1回目 午前8時28分
2回目 午前11時51分
3回目 午後1時35分

- 内容
- ※時間は、先頭車両のスタート時刻です。先頭車両の通過から約1時間競技車両が走行します
 - ところ イベント広場 陸別サーキット(陸別町宇遠別)
 - 料金 ステージ券
前売り 2000円
(当日 2800円)
 - お問い合わせ
陸別フリーを成功させる会
(陸別町役場産業振興課内)
☎2712141 内線135

本のある暮らし 174

とよたかずひこさんがやってきます!

戸籍のまど

お誕生

7月後半から
8月前半の
届出分

戸田つばさ^{ちん} 賢治^{さん} 7/30 新 町

ご結婚

(伊藤 渉^{さん} 新 町
若林 美佳^{さん} 栄 町

(吉澤 玄^{さん} 北4丁目
石塚 亜希^{さん} 札幌市

(森 勇人^{さん} 足寄町
鈴木 結賀^{さん} 美里別高東

(大川 秋男^{さん} 拓 農
池田 亜紀子^{さん} 東京都

おくやみ

大島 節子^{さん} 88歳 7/15 向陽町

鎌田 きくゑ^{さん} 81歳 7/17 南2丁目

部田 明^{さん} 73歳 7/22 錦 町

武田 ハナ^{さん} 100歳 7/30 勇足元町

菊池 ノブ子^{さん} 80歳 8/6 勇足元町

山口 キク子^{さん} 84歳 8/8 緑 町

山口 キミ^{さん} 86歳 8/14 南2丁目

わたしたちのまち

前月比

人 口 7,586人(-30)

男 3,738人(-11)

女 3,848人(-19)

世帯数 3,735戸(-13)

〔7月末日住民基本台帳〕

10月に開催する『本のまち夢づくり講演会』で、絵本作家のとよたかずひこさんが来町します。とよたさんは、ほのぼのとした絵とお話で子供たちに親しみやすく大人気!!「おいしいともだち」シリーズは、食材を主人公にしたかわいらしくほっこりとするストーリーで、幼い時期からの食育絵本としてもおすすめです。

講演をはじめ、小学校での出前授業や保育所での読み聞かせ、小学生を対象に絵本づくりワークショップを行う予定。詳しい内容が決まりましたらくらしの情報紙「かけはし」でお知らせします。



★図書館で蔵書する とよたさんの作品

おいしいともだちシリーズ。後列左が最新刊の「とうもろこしくんがね…」です

「ももんちゃんあそぼう」シリーズ

「めんこいあかちゃん」シリーズ 「ほかほかあふる」シリーズ

お問い合わせ先
本別町図書館
(愛称:ぶつくるーぶ)
本別町北2丁目 ☎・FAX 22-5112